

栄養改善事業推進プラットフォーム の仕組み

2016年9月21日

内閣官房健康・医療戦略室
岡島 洋之

栄養改善事業推進プラットフォーム構想の背景

深刻な世界の栄養不良

- 世界で7.95億人が栄養不足
- 5歳以下乳幼児の死因の45%が栄養不良
- 知的・身体的能力低下は経済発展の妨げ
- 肥満人口の約3分の2が途上国に集中

日本企業の先行的な取り組み



国際的な取り組みの推進

- 「成長のための栄養」コンパクト(2013年)
- 英国・ブラジル政府と協力合意(2014年)
- 持続可能な開発目標(SDGs)(2015年)
- 伊勢志摩サミット「食料安全保障と栄養に関するG7行動ビジョン」(2016年)

食品産業等の国際展開を支援

- 健康・医療戦略(2014年)
「日本の優れた栄養強化食品などの研究開発力をいかし、……官民連携を通じた包括的(インクルーシブ)ビジネスを含む事業の国際展開を進める」

官民連携で栄養改善事業を推進する枠組を新設

関係府省

政府関係
機関

民間企業

学術研究
団体

NGO

栄養改善事業推進プラットフォームの目的

健康・医療戦略(平成26年7月22日閣議決定)

「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて、世界的な栄養改善の取組を強化することについて、日英共同声明の中で確認したことを受け、日本の優れた栄養強化食品などの研究開発力をいかし、新興国・途上国を含む各国の栄養改善のため、官民連携を通じた包括的(インクルーシブ)ビジネスを含む事業の国際展開を進める」

【目的】

官民連携を通じて、日本企業による栄養改善事業を推進することにより

- 日本企業の国際展開を促進し日本経済の成長に寄与する
- 世界の栄養改善と健康向上に継続的に貢献

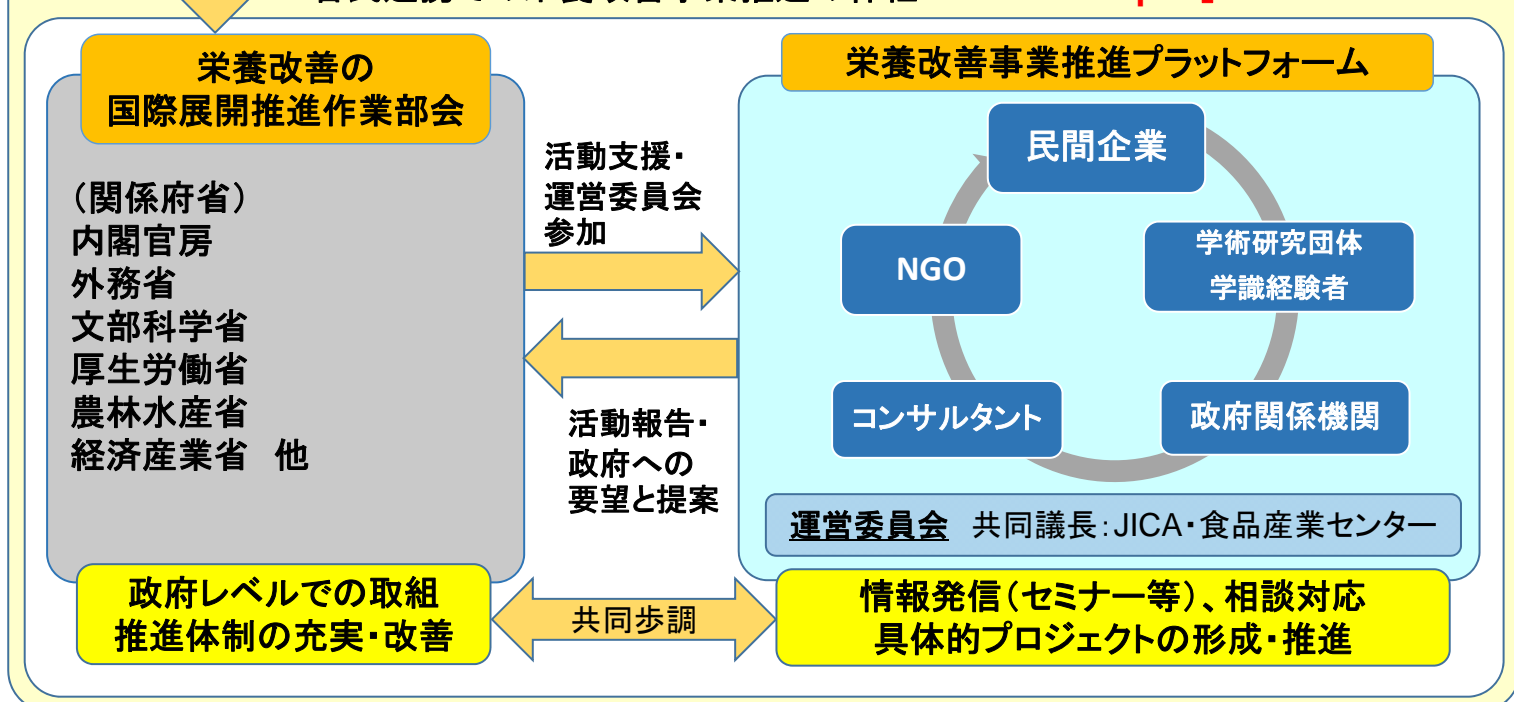
【目標】

- 栄養改善ビジネスの環境整備とビジネスモデル構築
- 途上国および新興国の栄養不良の持続的な改善

栄養改善事業推進プラットフォームと官民連携の枠組

健康・医療戦略推進本部／健康・医療戦略推進会議／医療国際展開タスクフォース

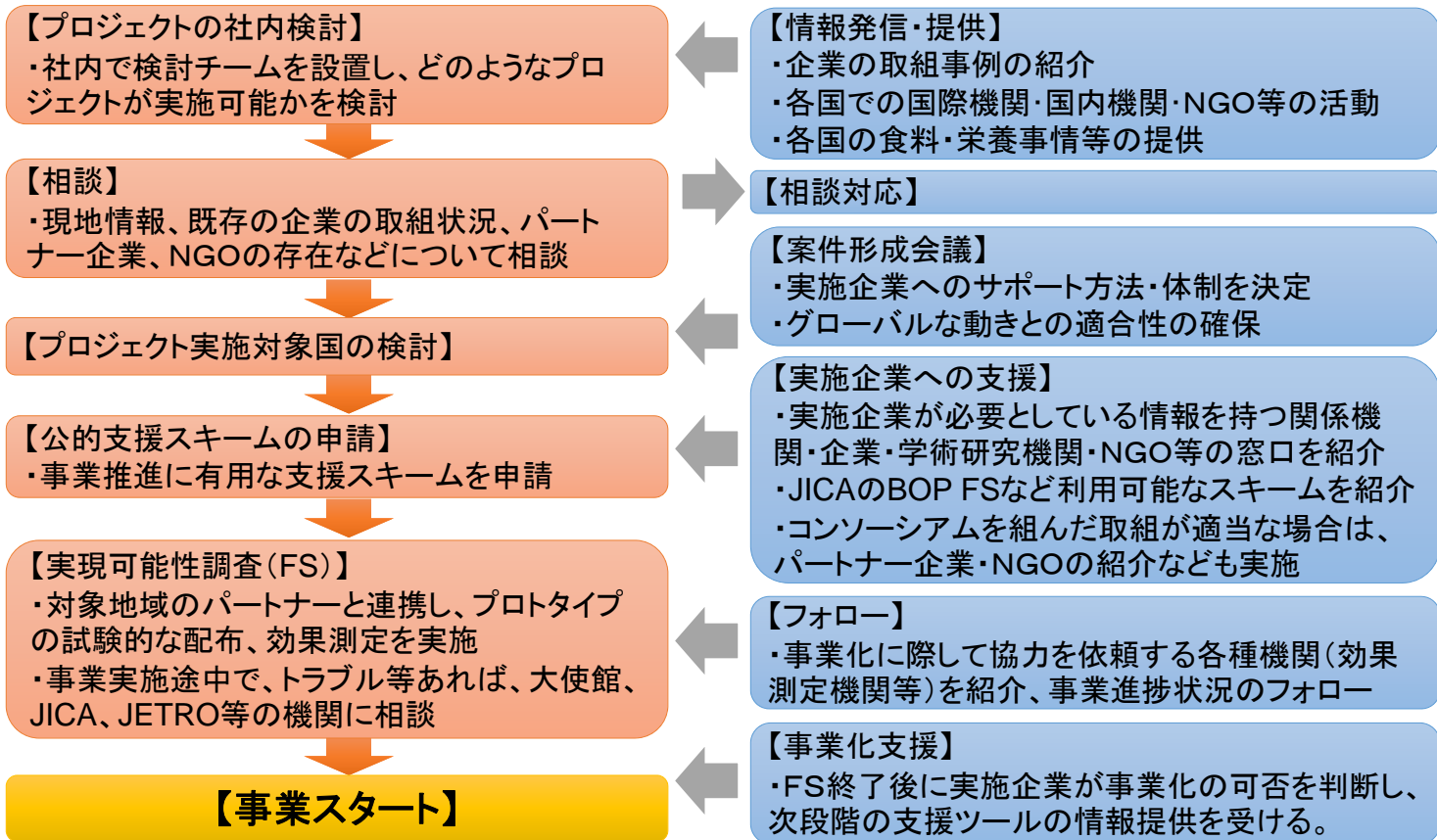
官民連携での栄養改善事業推進の枠組「Nutrition Japan」



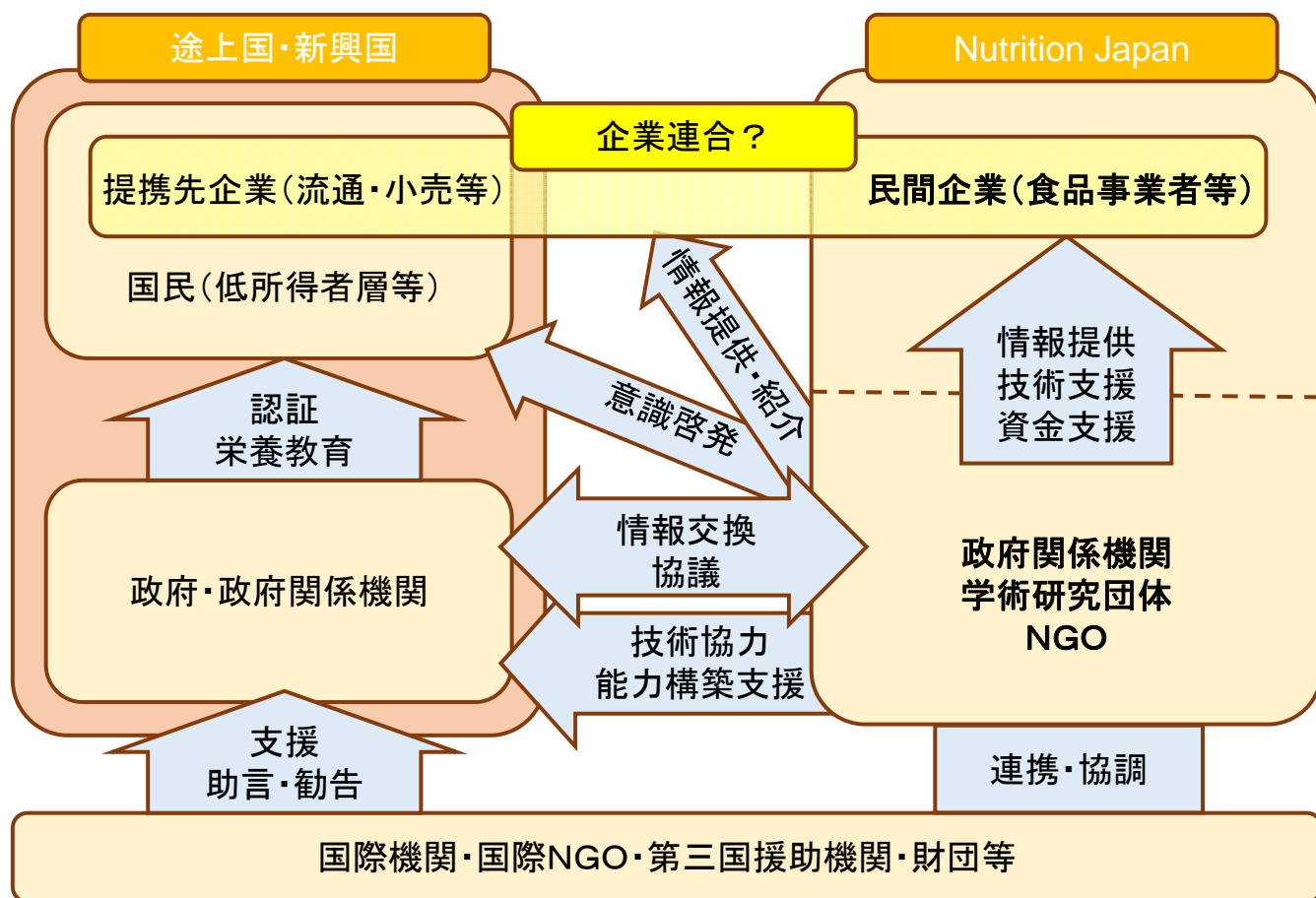
栄養改善事業推進プラットフォームにおける案件形成（イメージ）

実施企業（食品事業者等）

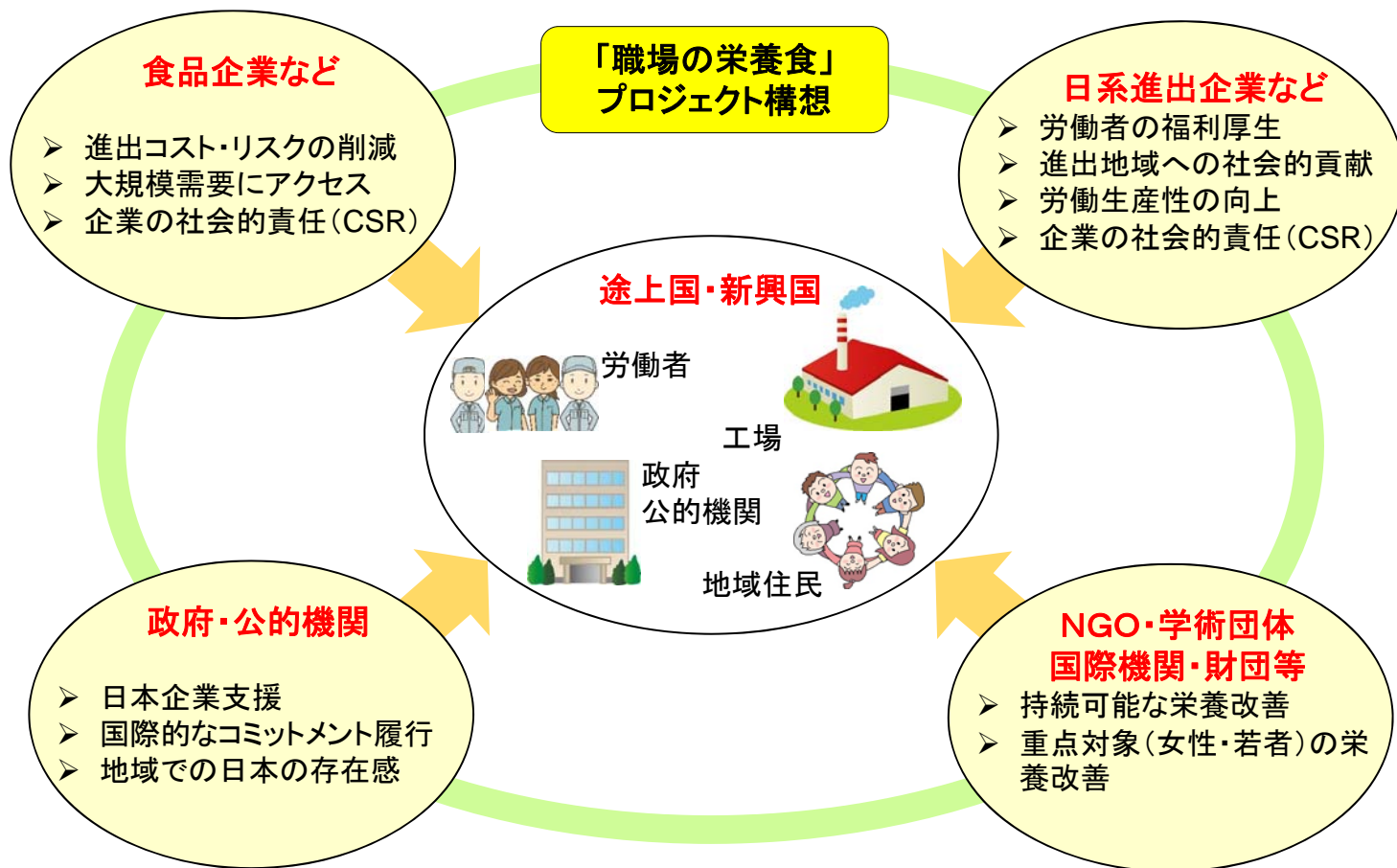
栄養改善事業推進プラットフォーム



栄養改善事業推進プラットフォームの活動と国際連携（イメージ）



栄養改善事業推進プラットフォームのプロジェクト例(イメージ)



ご清聴ありがとうございました。